



カナ坂だより

第 48 号

令和 7 年 10 月

編集発行

社会福祉法人 九頭竜厚生事業団

九頭竜ワークショップ

広 報 委 員 会

☎ 0779-87-3003



みなづき祭

七瀬すこっぱーずの皆様

も く じ

理事長挨拶、自治会新会長挨拶、副所長就任挨拶	2	新規利用者、新採用職員紹介	6
コミュニケーション支援への取り組み	3	財務諸表	7
福井県障がい者スポーツ大会	4	寄付・寄贈、満足度調査結果のお知らせ、	
行事紹介	5	編集後記	8

記録的な「猛暑」の夏

社会福祉法人 九頭竜厚生事業団
理事長兼 九頭竜ワークショップ所長

五十嵐 研治郎



年々、夏の暑さが尋常でないことが続いています。今年からの本部の夏まつりは、例年の反省から八月初めの真夏を避けて開催されることになりました。今回は、六月十四日に開催されることになり、祭りの名称は「第四十八回あおば祭り」とし、伝統を表す回数に継承することと致しました。開催日を前倒したとはいえ、この日も大変な猛暑日で、冷房装置のない体育館では、皆さんは大汗をかいての参加でした。

それでも、オカリナ演奏、落語、カラオケ等のアトラクション、模擬店などで大いに賑わいました。当日は、昨年と同様、勝山市と大野市内から、中・高校生十七名がボランティアとして参加し、会場を盛り上げてくれました。利用者の皆さんは、ボランティアとの会話が弾み、こうした若い世代との交流が契機となり、地域と繋がる架け橋となることを期待しています。

又、一週間後の六月二十一日には、九頭竜ワークショップ七瀬の郷で、「第十七回みなづき祭」が開催されました。久しぶりの「七瀬すこっばーず」のスコップ三味線やオカリナ演奏、その他、恒例の職員のアトラクションや、利用者の個性を表現した手作り仮装行列等があり、大いに賑わいました。

八月二十九日の本部での花火大会は、保護者会様からのご支援により、これまでにない経費をかけて行われ、上野の夜空を焦がした花火の迫力は圧巻で、観る人の心をとらえて離しませんでした。

しかし、屋内に戻るところで車椅子利用者が怪我をされてしまい、安全対策が不十分であったことが、開催責任者として大変申し訳なく思っています。今年度も、猛暑の影響を受けながらも、行事の継続と安全確保の両立に努めて参りましたが、このような残念なことになる、改めて「安全・安心な施設運営」の重要性を一層痛感致しました。

尚、七月からは新型コロナウイルス感染症の流行も見られ、感染対策の徹底と柔軟な対応が求められる日々が続いております。こうした状況下でも、利用者の皆さんが日々の楽しみを持ち続けることができるよう、今後も職員一同、創意工夫を重ねて参ります。

本部や七瀬の郷のように、過疎地・山間部という地域特性の中で、私たちの施設が果たすべき役割は、単なる福祉サービスの提供にとどまりません。人と人とのつながりを育み、地域に根ざした「生きがいの場」として、これからも歩みを進めてまいります。

皆さまのご理解とご支援に、心より感謝申し上げます。

自治会新会長挨拶

自治会会長 石川 恵介



令和七年度の自治会会長をさせて頂くことになりました、石川恵介です。

会長という責任ある役目ですが、せっかくの貴重な機会ですので、引き受けさせて頂きました。皆さまと力を合わせ、できることから積極的に行動していきたいと考えております。

今年度の夏は暑さが長く続き、感染症の流行も見られました。皆さまと共に

体調管理に努め、安心して暮らせる毎日を送っていききたいと思っております。

立派な自治会会長目指して頑張っていきますので、皆さまご支援・ご協力の程よろしくお願いいたします。

副所長就任挨拶

副所長 石井 多門



令和七年七月一日付けにて、「副所長」職を拝命致しました石井です。今後の法人の動向を左右する重責を担う立場であり、その責任の重さを痛感しております。

私は、昭和六十一年四月に当法人に入職し、現就労支援事業所の前身である「身体障害者授産施設」に八年間、「総務部」に二十八年間、その後、現在の「就労支援事業所」に異動し三年が経過し、この春、勤続三十九年目を迎えました。この間、利用者はじめ役職員、関係各位に支えられ様々な経験を積みさせて頂きました。私はこの経験を活かし、どのような「ビジョン」をもって法人運営を継続し、如何に社会福祉法人の使命を果たしていくかが大きな役割であると認識しているところです。

今後は、就労支援事業所の管理者も兼務致しますが、変わりゆく時代の流れを見極め、法人理念のもと利用者が安心して暮らすことが出来るよう真摯にその責務を果たしていければと考えていますので、これからも利用者はじめそのご家族様、職員の方々には、ご協力の程宜しくお願い致します。

あ な た の 思 い も か た ち に

～コミュニケーション支援への取り組み～

私たちの施設では「本人の思いを尊重するケア」を大切にしています。

ことばや発話が難しい方も、自分の気持ちや希望を持っています。けれども、それを周囲に伝える手段が限られていると、「分かってもらえない」「自分で決められない」という辛さにつながります。そうした方々の「伝えたい」「わかってほしい」という思いを支えるため、当施設では「コミュニケーション支援チーム」を立ち上げ 取り組みを開始しました。

今年度から大学で専門的な研究をされている方をお招きして、研修、事例検討会、発表会を行っています。

コミュニケーション支援の研修



意思伝達を補助する ICT 機器（視線入力装置や各種スイッチ入力機器、空気圧入力センサー等）を体験しています。



熊本保健科学大学 言語聴覚士 佐々木千穂教授による研修

個別検討会



〔個別検討会① テレビ操作の環境改善〕

意思伝達に様々な課題を抱えている方に対し、佐々木千穂教授にアドバイスを頂き、どのような機器を使用して支援をしたら良いのか検討しました。



〔個別検討会② 意思伝達〕

音声認識技術に関する発表会



神戸大学様、立命館大学様より講師を迎え、音声認識技術に関する発表会を行いました。この取り組みは、障害のある方の声や発話を正確に捉える技術の開発を目的としており、利用者様も熱心に質問していました。



神戸大学 都市安全研究センター・大学院システム情報学研究科の滝口哲也教授、立命館大学 情報理工学部の高島遼一教授、そして神戸大学大学院の学生の皆様による説明

これからも、誰もが自分らしく思いを伝えられる環境づくりを目指して、取り組みを続けてまいります。

福井県障がい者スポーツ大会

令和7年5月・6月に、第15回福井県障がい者スポーツ大会が開催されました！

今年も多くの方が参加され、日頃の練習の成果を発揮されました。

選手の皆さま、おつかれさまでした！



メダル 受賞者



上野の郷

石川 恵介 様
植村 美義 様
川崎 常美 様
辻 憲彦 様

いずみの郷

乾 利律子 様
小玉 悟 様
辻井 光春 様
山下 健嗣 様

就労支援事業所

佐藤誠二郎 様
高橋 徳一 様
三嶋 麻里 様
水野 啓子 様
水野 政人 様
畑 好美 様
山内 早苗 様
西田 光一 様
藤井由希美 様
横江 清悟 様

七瀬の郷

陸上 400m 走、走り幅跳び
アーチェリー 30mダブル
フライング・ディスク(ディスタンス)
ソフトボール投げ
陸上 50m走、ソフトボール投げ
ボウリング
ボウリング
ボウリング
ボウリング
陸上砲丸投げ、ジャベリックスロー
水泳 25m自由形バタフライ
陸上 50m走、ソフトボール投げ
ソフトボール投げ、砲丸投げ
ソフトボール投げ、砲丸投げ
フライング・ディスク(ディスタンス)
ボッチャ
スラローム
スラローム



10月末に滋賀で開催される全国障害者スポーツ大会

わたSHIGA輝く障スポ

当法人から、福井県代表として 植村美義 様、西田光一 様、畑好美 様の3名が出場されます。皆様のご健闘をお祈りいたします。



行事紹介

あおば祭り

あおば祭りは夏まつりに代わる一大行事！
初開催の今年は来客を招き、大きな賑わいを見せました！



みなづき祭

利用者が主役の七瀬の郷一大イベント！
今年は七福神がテーマ。仮装大賞を開催し、
大いに盛り上がりました！



花火大会

花まつり

花御堂の誕生仏に
ひしゃくを使って甘茶を注ぎます。
皆でお釈迦様の誕生をお祝いし、
所願成就をお祈りしました！



夏の夜。次々と打ち上げられる花火。
大野盆地を背景に咲く花火は、
まさに圧巻の一言です！

新規利用者様のご紹介

就労支援事業所
佐藤誠二郎 様就労支援事業所
前田ちえみ 様就労支援事業所
廣瀬 葵 様就労支援事業所
男性 2名七瀬の郷
西村 星香 様上野の郷
吉田 凌輔
(生活支援員)

上野の郷の皆様力になれるよう、粉骨砕身頑張ります！

就労支援事業所
山田 輝雄
(作業指導員)

作るものは異なりますが、前職で得た経験を活かしていきたいと思っています。

新

採

用

職

員

紹

介

七瀬の郷
谷口 利恵
(栄養士)

利用者の健康をサポートできるよう頑張ります。

七瀬の郷
八田 正樹
(生活支援員)

利用者の笑顔に届けられるように頑張っていきたいです。

医療部
長田 直斗
(理学療法士)

皆さんのお役に立てるよう、精一杯頑張ります！

シルバーケア
酒井 邦光
(介護職員)

心を込めて、皆さんの笑顔を支えられる介護を目指します。

シルバーケア
奥中 千里
(介護職員)

敬う気持ち、思いやりのある支援をさせて頂きます。

シルバーケア
ウンショクディー ガノックワン
(ブレイ) (介護職員)

一生懸命頑張ります。これからもうろしくお願い致します。

シルバーケア
ナムホーム パーチャリー
(パーミー) (介護職員)

毎日楽しんで、仕事も幸せにします！

シルバーケア
古川 有希
(介護職員)

入居者様一人一人に合った対応ができるようにしていきたいです。笑顔で頑張ります！

令和6年度 社会福祉法人 九頭竜厚生事業団 財務諸表

令和7年6月3日開催の理事会・6月19日開催の評議員会で承認されたものを掲載しております。(単位:円)

貸 借 対 照 表 (令和7年3月31日現在)			
科 目		科 目	
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	1,802,651,294	流 動 負 債	256,039,816
固 定 資 産	2,986,253,633	固 定 負 債	152,985,721
基 本 財 産	1,796,963,026	負 債 の 部 合 計	409,025,537
そ の 他 の 固 定 資 産	1,189,290,607		
		純 資 産 の 部	
		基 本 金	388,794,700
		国庫補助金等特別積立金	300,733,589
		そ の 他 の 積 立 金	736,137,859
		次期繰越活動増減差額	2,954,213,242
資 産 の 部 合 計	4,788,904,927	負債及び純資産の部 合計	4,788,904,927

事業活動計算書		資金収支計算書	
サービ 活動 収益 計	2,089,811,580	事 業 活 動 収 入 計	2,111,554,826
サービ 活動 費用 計	2,091,874,759	事 業 活 動 支 出 計	1,926,016,060
サービ 活動 増減 差額	-2,063,179	事業活動資金収支差額	185,538,766
サービ 活動 外 収益 計	21,743,246	施 設 整 備 等 収 入 計	9,219,710
サービ 活動 外 費用 計	4,932,829	施 設 整 備 等 支 出 計	116,242,603
サービ 活動 外 増減 差額	16,810,417	施設整備等資金収支差額	-107,022,893
経 常 増 減 差 額	14,747,238	そ の 他 の 活 動 収 入 計	65,300,718
特 別 収 益 計	9,599,254	そ の 他 の 活 動 支 出 計	124,231,668
特 別 費 用 計	17,831,967	その他の活動資金収支差額	-58,930,950
特 別 増 減 差 額	-8,232,713	当期資金収支差額合計	19,584,923
当 期 活 動 増 減 差 額	6,514,525		
前期繰越活動増減差額	2,980,359,217	前 期 末 支 払 資 金 残 高	1,587,501,933
当期末繰越活動増減差額	2,986,873,742	当 期 末 支 払 資 金 残 高	1,607,086,856
その他の積立金取崩額	58,839,500		
その他の積立金積立額	91,500,000		
次期繰越活動増減差額	2,954,213,242		

寄付・寄贈一覧 (順不同)

令和7年3月1日～令和7年8月31日

ウ チ フ ク 機 械 様
 椿 坂 電 機 (株) 様
 日 精 樹 脂 工 業 (株) 様
 (株) 明 光 建 商 様
 Y U S H I N (株) 様
 エ ネ オ ス グ ル ー プ エ ナ ジ ー 様
 (株) ほ く つ う 福 井 支 社 様
 (株) 深 谷 様
 (株) ア ー サ 様
 (株) マ キ ノ 光 陽 堂 様
 デ ー タ シ ス テ ム (株) 様
 (株) ア ス ピ カ 様

吾 田 醬 油 店 様
 高 雄 園 様
 (株) ナ リ コ マ エ ン タ ー プ ラ イ ズ 様
 (株) 酒 井 商 店 様
 杉 川 商 店 様
 コ ー キ 産 業 (株) 様
 ネ ク ス タ ス (株) 様
 (株) フ ク タ カ 様
 シ ャ デ ィ T A D A 様
 鯖江市南部民生委員児童委員協議会 様
 福井県立奥越特別支援学校 様

ご寄付・ご寄贈頂きましてありがとうございました。心より感謝申し上げます。

「利用者並びに保護者に対する福祉サービス満足度調査」 結果の掲載について

当法人は、法人存続のためのビジョン策定並びに利用者への更なる支援向上を目指すため、令和6年度にみだしの調査を実施させて頂きました。ご協力を頂きました利用者、ご家族様には改めまして心より感謝申し上げます。

この満足度調査の結果については、本年10月以降、当法人ホームページに掲載させて頂きますので是非ご確認くださいませようお願い致します。

編集
後記

令和7年度 初めての「カナ坂だより」をお届けします。今号では春・夏にかけて行われた行事について紹介しています。今年は5月より真夏日となり厳しい暑さが続きましたが、利用者が笑顔で元気にすごしている姿に、私たち職員も大きな力をいただきました。施設ホームページでは、毎週行事の写真を掲載していますので、ご覧いただければ幸いです。
(鶴野)



▲ホームページ